

放送日 平成30年8月1日(水)
担当者 観光振興課 山田 基

おはようございます。観光振興課長の山田です。本日は、ゴルフ観光についてお話しをしたいと思います。北広島は小さな市域ではありますが、現在8か所のゴルフ場が営業されていることから、通称「ゴルフ銀座」と呼ばれています。このゴルフシーズン中には、市内に約40万人を超えるプレイヤーが訪れており、また、プロゴルフのメジャー大会となっている女子トーナメントの meiji カップや男子の ANA オープンが開催されるなど、ゴルフは正に本市を代表する観光コンテンツの一つとなっています。この一級品とも言える観光コンテンツを、そのままにしておくのは勿体ないです。このゴルフと他の観光資源を結びつけて、インバウンド向けの旅行商品を作る、観光振興課の取組についてご紹介したいと思います。本市では、国と自治体、そしてゴルフ場や観光関係団体などが連携して、インバウンド向けの旅行商品造成を目的に実施する北海道ゴルフツーリズムコンベンションに平成28年度から参画しています。今年度は、8月5日から北広島市で開催され、旅行会社のバイヤーとメディアの方々20名を海外から招き、ゴルフ場や観光事業者などとの商談や視察などが行われます。現在、観光振興課では“ふるさと祭り”の準備作業に加え、このコンベンション開催の調整業務もあり、大変な状況ですが、開催地として、海外バイヤーの方々が満足頂ける様、観光振興課が一丸となって、しっかりとお持てなしをさせて頂きたいと考えております。そして、ゴルフプレイは元より、周辺観光やショッピング、食事などのアフター・ゴルフを通じて、北広島におけるゴルフツーリズムのポテンシャルの高さと観光資源の魅力を伝え、海外からの誘客促進に繋げていきたいと考えております。気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月2日(木)
担当者 商工業振興課 林 睦晃

おはようございます。商工業振興課長の林睦晃です。

私は本年4月の人事異動で現在の部署に来て、7月末で4か月が経過しました。

4月から5月にかけては、商工会などをはじめ、市内企業などが加入している関係団体の会議などへ出席させていただき、企業の代表の方たちと話をする機会がありました。本業の経営だけでなく、まちの賑わいづくりなど、地域の活性化についても様々な形で企画や運営などに取り組んでいただいていることがわかり、このエネルギーを良い形でつないでいけるようお役に立ちたいと感じているところです。

市内企業からの話題として出てくるものの一つに人手不足の問題があります。これは全国的な問題として度々ニュースになっていますが、北広島市を含むハローワーク札幌東管内の有効求人倍率は、本年2月、3月において企業の求人数が求職者数を上回る数値を示す1.0を超える高いものとなりました。

正職員やパートなどの募集を行ってもなかなか応募が少ないといった話も市内企業からうかがっていますが、これからは、人手不足解消のために女性や高齢者、外国人などの雇用が重要と言われています。商工業振興課では、一昨年から働きたい女性を対象とした支援事業として、子育てが落ち着き仕事を始めたい方などを就職へつなぐために座学研修や職場実習、合同企業説明会の開催などの事業を実施しています。

今後も市内企業の声を聴きながら、引き続き雇用の促進にむけ、様々な施策を進めていきたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月3日（金）
担当者 企業誘致担当参事 庄司 直義

おはようございます。企業誘致担当参事の庄司です。

今日は、私が担当しております土地開発公社の業務についてお話しさせていただきます。

北広島市土地開発公社は、「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づき、昭和48年に市が特別法人として設立し、これまで市の依頼により、道路、公園、学校などの公共用地の先行取得を行っており、また、公社自らが行う工業団地開発などの土地造成事業では、共栄・北の里にある広島第2工業団地、大曲の新聞印刷工場などが立地している大曲第3工業団地の造成事業を実施し、市のまちづくりに貢献してきました。

現在は、平成22年度から実施している北広島輪厚工業団地の分譲を行っており、分譲率も95%となっておりますが、企業の操業については、まだ4割弱と未操業地の早期の立地が課題となっております。今後も分譲地の早期完売と未操業地の立地促進に取り組んでまいりたいと考えております。

さて、話は変わりますが、明日から市観光協会が主催する「第40回北広島ふるさとまつり」がJR北広島駅東口周辺で開催されます。

今年は40周年記念事業として、大人も子供も楽しめる宝さがしや、自分で描いた魚たちがスクリーン上の海を泳ぐ紙アプリなどが登場します。

また、トドックや星槎道都大学学生の前田麻耶さんをはじめとするゲストの出演や、市職員による「さんぽまちの唄」の披露も必見です。お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月6日（月）

担当者 業務課 遠藤 智

おはようございます。水道部業務課長の遠藤です。

全国各地で記録的な猛暑が続いています。本市でも熱中症で救急搬送された方がいらっしゃるようですが、熱中症予防で欠かせないのが水分補給です。

ところで、皆さんは日頃、どのような飲み物で水分を取っていますか。今の時代、ミネラルウォーター、お茶、スポーツドリンクなど、たくさんの種類の飲み物が店頭で販売されています。昔は、当たり前のように飲まれていた水道水ですが、今では、水道水をそのまま飲むことはないという人も増えてきているのではないのでしょうか。

水道事業に携る者として、近年、水道水を飲む習慣がなくなってきていることは、とても残念なことです。そもそも水道水は、飲むことを前提に水道法で厳しい水質基準が設けられています。ちなみに、ミネラルウォーターは食品衛生法で安全基準が定められていますが、チェック項目は水道水よりも少なく、安全性という観点では水道法の方が勝っているのです。また、本市の水道水は、6月1日号の広報紙にも掲載しましたが、おいしい水の条件をほとんど満たしています。どうしても水道水特有のカルキ臭が気になる方は、一度沸騰させる、冷蔵庫に一晩置く、レモン果汁を数滴垂らすなど、ほんの一手間加えるだけで、臭いを和らげ、すっきりとした味わいになります。

世界中で水道水を飲める国は、日本を含め十数か国しかありません。蛇口をひねって水道水をじかに飲むことは、日本に住む私たちの特権と言っても過言ではないのです。

今週も暑さは続きそうです。日々の水分補給には是非とも水道水をご利用ください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆様が、心に抱く大志を結集し、本日も一日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月7日（火）
担当者 土木事務所 人見 桂史

おはようございます。建設部土木事務所長の人見です。土木事務所は主に道路・河川・市営駐車場の維持管理を行っている部署です。

先日、土木事務所を訪ねて来た新人職員が「北広島市役所のもので」と名乗って来ました。どうやら私たち土木事務所の職員は、同じ市役所の職員ではないと思っているようでした。この場をお借りしてお伝えしますが私たち土木事務所の職員も皆さんと同じ市役所の職員です。どうぞ忘れないでください。

さて、新人職員の話がありましたので、先輩として仕事をするうえで二つアドバイスをさせていただきます。一つ目は、早く一人前になるためにゲームではありませんが、経験値を少しでも早く上げて欲しいのです。その方法として他人の経験も自分の経験にして欲しいのです。それはどういうことかと言いますと仕事をしていくうえで、色々な問題にぶつかることがあると思います。当然自分の仕事上で発生した問題は、自分で対応処理することになると思いますが、それだけではなく、他のスタッフの問題に対してもどうして問題が発生したのか、どのように処理をしたか、処理の結果はどうであったか、もっと良い対応方法はなかったかということを考えることで自分の経験にして欲しいのです。そうすることにより自分が同じ様な場面に直面した時の対応が全く変わってくると思います。

二つ目は、常に判断をする癖をつけて欲しいのです。市役所の仕事は、前例踏襲という部分も多々ありますが、そういう仕事でも自分がするからには、前年と同じにやりましたではなく、自分で理解、判断をしてから進めて欲しいのです。結果は同じになるかもしれませんが、若いうちからそういう癖をつけることが大事だと私は思っています。以上の二つが私からのアドバイスです。良かったら参考にして下さい。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月8日(水)
担当者 下水道課 橋本 洋二

おはようございます。水道部下水道課の橋本です。

昨年のスピーチの中で、マンホールカードについて話をさせて頂き、北広島市ではまだ発行するまでには至っていないと言いましたが、何と第6弾の選考決定に伴い、昨年12月9日からエルフィンパーク市民サービスコーナーで配布を始めています。

マンホールカードは現在、第7弾まで導入され全国で342種301自治体が発行しており、北海道では20種20自治体が発行しています。

北広島市のゆるキャラマイピーをあしらったカードの配布枚数は、7月31日現在2,334枚配布しています。遠いところでは、宮崎県から来たマニアの方も居たそうです。

最近、じわじわと増えているという「マンホール女子」を知っていますか？通称「蓋女」と呼ばれるマンホール蓋を撮影している人達のことです。もしかしたら、今日も北広島駅東案内板付近の歩道で、マイピーのデザイン蓋を「蓋女」達が撮影しているかも知れません。

話は変わりますが、下水道には何でも流せるって勘違いしてる人や、ためらいなく異物を流している人もいます。今回は下水道の正しい使いかたをみなさんにお話します。当たり前のことですが、聞いてください。

お風呂やトイレで注意してほしいことは、タオル・ティシュペーパー・紙おむつ・生理用品・髪の毛などは水に溶けないため、詰まりの原因となり、汚水が溢れる原因となります。

台所で注意してほしいことは、食用油や残飯などを流さないことです。油分は下水道管内に付着し、次第に固まって詰まる原因となります。食用油は固形化するが、新聞紙や布などに染み込ませ、燃えるゴミに出してください。

雨水が流れる排水溝に落葉やごみを捨てると、雨水が流れにくくなってしまい、大雨の時に雨水が排水溝から溢れてしまう危険があります。

ごくごく当たり前の話でした。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいづく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月9日(木)
担当者 水道施設課 笹原 拓己

おはようございます。水道施設課長の笹原です。

みなさん、ご存知とは思いますが、7月1日付けで商工業振興課より異動となり、早くも1月が経ちました。

水道施設課には、平成9年以来約20年振りの復帰となりました。この頃と業務の内容は大きく変わっていませんが、図目や台帳のほとんどが紙で保存されていた当時と比べ、電子化・システム化されたところに時代の進化を感じています。

日々の業務は、私を含め職員10名と非常勤職員2名で行っており、職員10名の内5名が20代と、若くてフレッシュなメンバーが揃っています。

業務内容は、給水区域内における水道施設の計画・積算・工事監督、給排水設備の審査・検査、水道施設の維持・管理などを行っています。

最近の主な事業として、老朽化施設の更新、耐震化に取り組んでいます。地震や災害の際にも安心して水を供給できるよう、水道管は耐震管に、水を貯めておく配水地は耐震構造に更新しています。

また、職員についても災害時や非常時に水を供給できるよう応急給水訓練なども行っています。

昔から、「備えあれば憂いなし」ということわざがあります。日頃から準備をしておくと、いざという時に慌てなくて済むというたとえです。

今の日本、地震や大雨などの異常気象による災害が毎年各地でおきています。災害あわないのが一番ですが、備えておくことも大切です。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月16日(木)
担当者 下水処理センター 藤本 正志

おはようございます。下水処理センター長の藤本です。

皆さんもご承知のとおり、下水処理センターでは、清潔で快適な生活環境の確保や、河川など水質全ため、毎日処理を行っています。更に、地域バイオマスである生ごみとし尿浄化槽汚泥を受け入れ処理を行っています。

下水処理の過程で発生する副産物として、メタンを主成分とする消化ガス(所謂バイオガス)と汚泥がありますが、今回は汚泥のリサイクルについてお話したいと思います。

全国で発生する下水汚泥のリサイクル率は、東日本大震災により一時的に下降しましたが、平成27年度末で、セメント化などの建設資材として約49%、緑農地利用に15%、燃料化など4%となっており、残りの32%は埋め立てなど有効利用されずに処分されています。

これを北海道内に限ってみると、建設資材に約34%、緑農地利用に約52%、その他利用が6%となっており、発生する汚泥の92%がリサイクルされています。

全国と比較すると、リサイクル率の高さはもちろん、緑農地還元の割合が極めて高いことがわかります。正に農業王国北海道を象徴していると思います。

皆さんもご承知のように、北広島下水処理センターで発生する汚泥は、乾燥後市内農家で肥料として利用しています。当初は乾燥せず、絞った状態の汚泥を利用していましたが、その使い勝手の悪さから、機械による散布ができるよう乾燥機を導入し現在に至っています。

平成27年の下水道法改正により、発生汚泥を燃料や肥料として再生利用するよう努めることが明確化されましたが、当市は下水処理センター稼働後まもなく緑農地還元を実施しており、これまでの諸先輩のご苦勞の賜物と思っています。今後もこの取組を継続することはもちろん、安定した下水・バイオマス処理を継続して行きます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月17日（金）
担当者 契約課 及川 浩司

おはようございます。契約課長の及川です。今朝は、私が担当している契約事務の基本的な考え方について、近い将来、市役所業務の中心的役割を担うことになる若手職員の皆さんを中心に、お話しさせていただきます。

さて、皆さんは、「契約」という言葉から何を連想するでしょうか？堅苦しくて、面倒なイメージを持ってはいないでしょうか？実は、皆さんの毎日の生活が、様々な契約の上に成り立っていることを知っているでしょうか？例えばスマホの契約やアパートの賃貸契約、自動車の購入契約などが思いつく代表的なものでしょう。意外かもしれませんが、結婚も契約の一種であり、コンビニでおにぎりを購入する行為も契約です。なぜなら、おにぎり一個百円と表示して冷蔵ケースに置くというコンビニからの「申込」に対し、客である皆さんがレジに持っていくという行為が「承諾」に当たり、契約が成立しているからです。このように、私たちは知らず知らずのうちに様々な契約を自分の意志で自由に交わしながら生活をしています。

一方、同じ契約でも、今お話しした「私契約」と市役所の業務として行っている「行政契約」との決定的な違いとは何でしょうか？

それは、私たち自治体職員が公務として物品購入などの契約行為を行う場合、行政契約には「平等性」が強く求められ、「自分は、このコンビニのおにぎりが好きだから買って食べる」というような「契約自由の原則」が制限され、他のコンビニでも同様におにぎりを取り扱われているのであれば、その購入財源が税金によって賄われるものであることから、原則、一般競争入札により購入先を決定しなければならないと定められています。

ただし、業務の煩雑さを軽減するなどの理由から、「合計で5万円を超えない場合には、競争入札や見積徴取を行わずに購入先を決定出来る」と、契約事務取扱要領で定められていますが、これはあくまでも「出来る規定」であり、本来は、購入する物品等の金額に関わらず、競争入札により平等性を確保したうえで購入先を決定することが大原則であり契約の基本である。ということを絶えず念頭に置きながら契約事務を行って下さい。

繰り返しになりますが、公務として交わす「行政契約」と個人による恣意的な「私契約」とでは、平等性を求めるか否かにおいて大きく異なる性質のものである。ということを十分理解したうえで、今一度契約事務取扱要領などを読み返し、今後も契約事務を適正に執行していただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月20日（月）
担当者 審査・検査担当参事 小島 靖雄

おはようございます。工事審査・検査担当参事の小島です。今年の新人職員のすばらしい朝のスピーチを聞いて自分の初心はどうだったか、すでに忘却の彼方ですが、最初の配属先、そして人事異動の想いは結構記憶に残っています。

自分がどの課に配属されどんな仕事をするのか、どんな先輩・上司がいるのかは大きな関心事でした。内示後、落ち込むときもあり逆にやる気がでた時もありました。

人事異動は、職員の入替により刺激が加わり、部や課の組織力を高めるとともに、職員個々が、希望する課で仕事の幅を広げ、能力をさらに伸ばすという期待が込められています。しかし、個人の適正や能力の評価を的確に行い、かつその能力開発も見越した人事はなかなか難しいものと思います。当市では、3年同じ部署で勤務すると、異動希望の有無や希望先を申告できる権利が与えられます。希望する部署で意欲を持って仕事に取り組んでもらうためです。しかし、私の経験からいうと、希望と異動がうまく合致しないことも多く、**自分も若いころは希望が叶えられた記憶はほとんどありません。**人事異動は、本人の希望と部署ごとの必要性との調整の中で行われるからです。やりたい仕事があるなら、採用から10年間は、どの課に配属されようと日々の職務をひたすら続けながら、経験と実績を重ね、能力を高め、どの部署にとっても必要とされる人材に近づくことです。その後は、やりたいことを自覚し、こだわりながらも与えられた仕事を効率的・効果的にこなすテクニックを磨きます。その上で希望する分野の勉強をするもよし、キャリアアップを目指すのもよいと思います。時にはその熱い想いを上司に伝えることも有効かもしれません。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月21日(火)
担当者 会計課 広田 律

おはようございます。会計課長の広田です。

近年、私たちが働く地方公共団体は、行政主体としての広範な事務を処理しながら、昨今の人口減少社会において多様化する住民のニーズに対し、よりきめ細やかな対応を求められ、また、職員数は減少しているが業務量は変わらないなどで、事務の不適正な処理のリスクが拡大する傾向にあるとされています。特に予算の執行、収入支出などの財務に関するリスクは、地方公共団体にとって、影響度が大きく、発生頻度も高く、重要なリスクであると考えられています。これらのことから、平成29年には地方自治法が改正され、都道府県や政令指定都市は、財務に関する事務が適正に行われることを確保するための内部統制に関する方針を策定し、これに基づく体制を整備しなければならないとされました。指定都市以外の市町村は、努力義務となっていますが、それほど、財務に関する事務の不適正な事案を防止するための対策が重要視されている状況にあります。

さて、会計課では、各部署からの支出命令を受け、年間約7万件の口座振込や納付書払の審査をしています。昨年は、会計事務の誤りを少しでも減少させたいという思いから、会計課初めての取組として、会計課通信を7回発行したほか、課長職対象の会計事務研修を実施しました。会計課通信については、多くの方に読んでいただき、ありがとうございました。また、毎年職員課主催で実施される会計実務研修会も今年度は、明後日23日に開催されます。会計事務を担当する職員が、様々な機会に得た知識を課内で共有し、会計事務の誤りを減少させるようお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月22日(水)
担当者 議会事務局 千葉 めぐみ

おはようございます。議会事務局の千葉です。

突然ではありますが、職員のみなさんは路線バスをどのくらいの頻度で利用していますか。なぜこのような質問をしたかという、8月1日号の広報きたひろしまに、「公共交通を未来につなぐ」という特集記事があったからです。

私は、今まではJR路線の廃線がテレビなどで取り上げられていても、どこか他人事として感じていました。しかし、この記事には身近な路線バスも廃線となる可能性があることが書かれていて、こういった問題は決して他人事ではないことを気付かせてくれました。市においても、地域公共交通網形成計画を策定して、持続可能な公共交通網の構築のため事業を展開しているところではありますが市の取組だけでは不十分であり、市民と事業者が協力し合わなければならないと記事にはあります。

今はまだ車を運転できるから、バスには乗らなくても大丈夫と想着いても、高齢になって車を手放した時に、交通手段であるバスがないと、買い物や通院などが困難になり生活に大きな支障がでて、このまちに住み続けることが難しくなることでしょう。また、車の運転ができない学生にとっては、いつの時代であっても、バスは通学のための大切な交通手段です。少し大げさな言い方かもしれませんが、今あるバス路線は未来の自分自身と子どもたちのために、私たちが責任をもって引き継がなければならない財産ではないかと思います。

今お話したことは、私が携わっている業務とは直接関係のないことではありますが、市職員としてそして一市民として、身近にある行政課題に関心を持つことが必要ではとの思いから話をさせていただきました。ちなみに、バス路線維持のためには、普段バスに乗らない人も、無理のない範囲でバスを利用することだそうです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月23日（木）
担当者 監査委員事務局 棚田 吉浩

おはようございます。監査委員事務局次長の棚田吉浩です。

今日は、今年の3月まで勤務していた西の里出張所でのことについてお話しします。

出張所は、皆さんご存知のとおり、市民と直接対話し、様々な申請や受付業務を行っておりますが、その中でよく言われたのが、「役所から送られてくる文書は、難しくてよく分からない」というものです。

出張所では、その個々人に宛てられた文書の内容を確認して、対応に当たりますが、確かに市民にとっては少し難しいものも見受けられました。

私たちが普段、何気なく使っている言葉や専門的な用語は、市民にとっては馴染みがなく、分かりづらい言葉となっています。特に、高齢の方には難しく、分からないものです。

通知やお知らせなど、文書は相手があるものなので、理解されなければ何にもなりません。それぞれの部署において、限界はあると思いますが、できる限り、分かりやすい言葉での対応をお願いしたいと思います。

また、以前に「短文のススメ」ということを習ったことがあります。良い文章の基本は短文にあります。短い文章をテンポよく連携させることで、メッセージは読者に誤読なく伝わるというものです。

私たちの仕事は、市民との対話から始まります。通知やお知らせも市民対応の大切なツールです。今日から、文書作成の際には、もう一度読み返して、少しの時間、考えてみてはいかがでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月27日（月）
担当者 学校教育課 河合 一

おはようございます。教育委員会事務局教育部学校教育課長の河合です。

本日は、長時間勤務が問題となっている教員の働き方改革についてお話しいたします。

平成28年度に文部科学省が実施した教員勤務実態調査によると、過労死ラインとされる月80時間を超えて勤務を行っていた教員の割合は、小学校で33.5%、中学校に至っては57.7%と約6割を占め、小中学校ともに校長や教頭など全ての職種において、10年前の前回調査より勤務時間が増えていることが分かりました。なお、北海道においては特に教頭の勤務時間が長く、小学校で70.8%、中学校で72.7%となっており、大変深刻な状況です。

教員の長時間労働の背景には、学習指導要領の改訂による授業時数の増加、学習内容の見直し等により、担当する授業時間や授業準備に要する時間が増えていることや、中学校の場合は、部活動指導も要因の一つです。

こうしたことから、文部科学省は「学校における働き方改革に関する緊急対策」を取りまとめ、学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底を全国の教育委員会に通知しました。なお、本市におきましても、北海道教育委員会が作成したアクション・プランに準じ、長期休業期間中の学校閉庁日の導入を行い、今後、部活動休養日等の完全実施に向けた取組など、学校における働き方改革を進めていく予定です。

このためには、先導役となる教育委員会学校教育課スタッフの働き方が模範とならなければいけないと感じておりますが、まずは、私自身の働き方を問いかけていきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月28日（火）
担当者 小中一貫教育課 富田 英禎

おはようございます。小中一貫教育課長の富田英禎です。

今日は、「そなえよつねに」の話をします。ご存知の方もいるかと思いますが、これはスカウト活動のモットーです。スカウト活動では、スカウトたちが自分自身で問題解決法を学習できるような課題を実践する活動をしています。

今の子供たちは、大学を出るころに半数以上が現在は存在しない職に就くといわれています。そのような中で、私は子どもたちが主体的に判断し、行動をし、自ら課題を解決する「生きる力」を育成するために、どのような教育をしていったらいいかという業務を行っています。

話は変わりますが、大学の時の専門分野は「債権譲渡」でした。就職活動で、金融などを志望しなかった私は、「働き始めたらこの知識はきっと役に立たないんじゃないか」と思っていました。

ところが、入庁してから20年以上経って、当時の知識をフル活用する業務ができて、びっくりしたと同時に、あのときちゃんと知識を身に付けておいて良かったと実感しました。

自分が学生時代に学んだことはもしかしたら役に立つかもしれない、小さいころスカウト活動で聞いた「そなえよつねに」は、自らが社会の変化に対応する「生きる力」を身に付けるために、必要な言葉だったのだと感じているところです。

ですから、今でも、小さいころに聞いた「そなえよつねに」を胸に、いつか活用できるかもしれない知識を習得しようとしているところです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月29日(水)

担当者 社会教育課 吉田 智樹

おはようございます。教育委員会教育部社会教育課長の吉田です。

社会教育課では、市民の皆さんの生涯にわたる主体的・自主的な学びとなる「生涯学習」の推進、さらには、学校教育以外の様々なサークルや団体の活動となる社会教育活動の推進。そして、健康でいきいきとした生活を営む上でのスポーツ・レクリエーション活動の推進や活動を行う場としての様々な施設の維持・管理を行っています。一年間、多くのイベント運営や社会教育・体育事業を2名の主査・5名のスタッフ2名の非常勤職員が一丸となって奮闘しているところであります。

さて、家庭教育支援も社会教育課の業務の一つとなっておりますが、みなさんは「早寝・早起き・朝ごはん」の標語を知っているでしょうか、小学生・中学生を持たれる職員の皆さんは耳にされた事がある人もいるかもしれません。

7月・8月は、子どもたちの生活リズムの向上を目的とした「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化月間となっております。基本的な生活習慣を身に付け、生活リズムを向上させるため、特にリズムの乱れがちになる夏休み期間中実施されるものであります。

子どもたちの生活リズム向上だけではなく、大人の私たちも普段の生活を見直す良い機会ではないでしょうか。

時には「遅寝・遅起き・朝食べず」といった生活になっているときもあるのではないのでしょうか。

市民に対して明るく笑顔で元気よく対応する上で、私たち自身が健康でいきいきと生活することが必要だと感じています。

「早寝・早起き・朝ごはん」私たちの生活習慣も今一度見直す良い機会として取り組んでみてはいかがでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年8月30日(木)
担当者 図書館計画担当参事 新谷 良文

おはようございます。図書館の新谷です。

図書館とホールが建って今年で20年になりますが、建った時と比べて、よく使われるトイレの小便器の周りが、かなりの頻度で汚れているようになりました。特に厚着をする冬は多くなります。清掃さんも気を付けてこまめに拭いてくれているのですが、追い付かない様子です。

朝から下の方の話で恐縮です。こんなところからでも利用者の高齢化が進んでいるのがわかってくるのですが、こういうことが気になること自体、すでに私が他人ごとではない年齢に来ているからだと思っています。

気をつけなきゃいかんなーと思い、最近自分用の老いの10か条みたいなものを策定していこうかと考えています。例えば、「己が放出したものの落ち行く先を見届けよ」とか、あと、障害者用の駐車場に車を停めていくおじいちゃんも多くなった気がするので、「高齢者は、ガタが来た健常者。障害者用の駐車スペースはまだ早い。」

という2か条までは思い当たっております。この先いくつ増えるか、これもひとつの心の貯金と思って続けていくつもりです。

最後は、宣伝で終わります。9月4日から9日まで、26年続いている「古本ばくりっこ」が始まります。雑誌以外は何でも受け付けますので、ご家庭にある古い本やマンガなどがあれば、ぜひこの機会にご来館ください。よろしくお願ひします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。